

第79回入学式式辞

桜雨の恵の中、今日のために先輩たちが育てた色とりどりのチューリップの花が、皆さんの入学を喜んでいます。校庭の桜の花も、咲き始めました。本日こうして第79回入学式を挙げていくことを、皆さんと共に心から感謝したいと思います。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの日々の努力が実り、憧れていた高校生活がいよいよはじまります。

こうして皆さんが春日丘高校の入学を勝ち得たのは、皆さんの努力のたまものであると同時に、支えてくださったご家族の皆さんや、友人、中学校の先生などの存在があったからこそです。そのことを決して忘れることのないようにしてほしいと思います。

高校は、子どもから大人へ成長する大切な時期です。この期間をどのように過ごすかは、これから先の人生に大きな影響を与えます。皆さんは高校在学中に18歳の誕生日を迎え、成人になります。春日丘の自主、自律、自由の校風の中で、有意義に過ごしてほしいと考えています。

毎日を有意義に暮らすために、大切なことは健康であるということです。睡眠や食事など毎日規則正しい生活を送るとともに、適度な運動によって体力を身につけるなど、不断の努力によって健康を維持してください。

「健全なる精神は、健全なる身体に宿る」という言葉があるように、精神と身体は密接に関係していて、健康な体作りこそ、精神の安定につながり、学習に対する集中力を養ったり、行事や部活動を楽しんだりすることも可能になります。高校生活はまず、生活のリズムを整えることに重点を置いてください。

大人になると自らの責任によって物事を選択し、その責任は自分が負うこととなります。高校生の中に、その為に必要な力を身につけましょう。そして、誰かの指示を待つのではなく、皆さん自身が人生の主体となって決断し、行動する習慣をつけましょう。時々の結果はどうであれ、悔いのない人生を送ってほしいと思っています。

私がいつも、何かヒントになればと考え、春日丘の皆さんにお伝えしていることがあります。それはアメリカの哲学者 ウィリアム・ジェームズの名言で、「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」というものです。ノーベル平和賞の受賞者であるマザーテレサも、同様の趣旨の言葉を残しています。

高校生活の中で一生懸命活動すればするほど、様々な問題に行き当たります。皆さんはまだ人格の形成の途上です。問題解決を図る過程で 自分を変えることが必要になる場合があります。時には出口が見えずに前に進むことができなくなることもあるかもしれません。しかし、その時こそ自分を見つめなおし、自分を成長させるチャンスです。ごまかしたり、周囲のせいにしたりせずに、自分自身の好きなどころ、嫌いなどころも含めて、じっくり自分と向き合ってください。心を変えることで、自らの運命を切り拓いてほしいと思います。

春高生の1年間の生活の密度は高く、充実しています。授業の予習、復習のほか課題

も多く出されます。また、体育祭や文化祭などの学校行事、部活動など、春日丘高校の3年間で様々な体験を積んでください。とても忙しい毎日ですが、クラスやクラブの仲間や先輩とともに支えあって乗り越え、心身ともに成長していきましょう。その中でできる絆は、今後の皆さんの人生の中で貴重な財産となります。

中学3年生の春、受験を前に不安でいっぱいだった皆さんも、こうしてここに座っています。今、皆さんが不安に思っていることも来年になれば、何も心配することはなかったと、自分を振り返っていることでしょう。ぜひ失敗を恐れず、勇気をもってチャレンジしてください。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。お子様の努力はもちろんのこと、ご家庭における並々ならぬご支援があったものと推察いたします。教職員一同、ご家庭と連携しながら、生徒の皆さんが、大人になる過程をサポートしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

また、PTA、後援会、藤蔭会の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今後も引き続きお力添えいただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

結びに、79期生の皆さんがいつも希望と感謝とともにあり、充実した高校生活を過ごされることを強く願ひまして、私からのメッセージといたします。

令和6年4月3日

大阪府立春日丘高等学校

校長 濱崎 年久